札幌医科大学から世界へ

先進研修連携枠(ATOP-M)

札幌医科大学は「医学・医療の攻究と地域医療への貢献」の建学の精 神の下、北海道の地域医療に貢献すると共に世界へ羽ばたく医療人を 育成してきました。

医学部においては、一般選抜に「北海道医療枠」を、推薦入試には「地 域枠」を設け、北海道内外の医学・医療において指導的・中核的役割を 果たす医師を育成し送り出してきました。

本学の卒後必修プログラム※が、地域医療への理解と国際性を兼ね 備えた医師・医学研究者の育成を目指したものであることをより明確に するため、2020年度入試より「北海道医療枠」「地域枠」の名称を「先進 研修連携枠(ATOP-M)」に統一しました。

札幌医科大学医学部では今後も、アドミッション・ポリシーで求めてい る資質を有する学生を受け入れ、地域や国際医療に貢献できる医師と、 世界に通じる医学研究者を育てていきます。

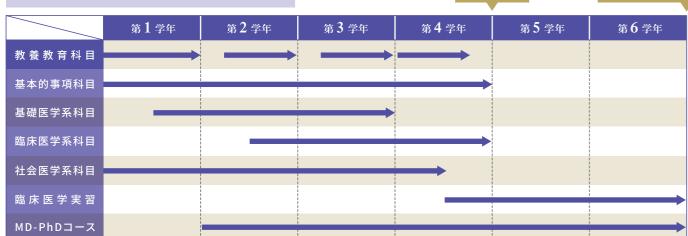
※札幌医科大学附属病院を含む臨床研修指定医療機関で臨床研修 を修了後、本学医学部又は附属病院の各診療科に所属し、7年間、 本学及び本学の卒後必修プログラムに関連する国内外の医療機 関又は研究機関において医学・医療に従事するものです。

ATOP-M(エイトップ-エム)

Advanced education and training opportunities program for medical students



医学部カリキュラム(全入試枠共通)



(研究医育成)MD-PhDコース

このコースを履修する学生は、医学部第2学年から基礎研究に携わることができます。 世界に通用する研究者を育成することを目的としており、優秀な指導教員のもと研究に励みます。



医学部医学科は、2021年度に一般社団法人日本医学教育評価機構(JACME: Japan Accreditation Council for Medical Education) による医学教育分野別評価を受審し、2023年1月17日付で医学教育における国際基準 に「適合」していると認定されました。

| 卒後のキャリアを見据えた

入試枠連動のキャリア形成

卒後キャリア形成モデルプログラム

医学部卒業後、医師として一人前になるまでには、臨床研修・専門研修を含めて約10 年かかると言われますが、この期間に、いかに有益な研鑽を積めるかが、キャリア形成の 分かれ道となります。

札幌医科大学医学部「先進研修連携枠」の入学生は、卒業後2年間の臨床研修を経 て、3年目からは本学附属病院各診療科及び医学部講座等に7年間所属します。充実し た指導医陣のもと、本学附属病院や国内外の関連機関で研鑽を積み、専門医の資格を 取得するプログラムに従事します。また、「特別枠」の入学生は、卒業後、道内の医療機関 に9年以上勤務し、かつ、当該勤務期間のうち5年以上の期間を北海道知事が指定する 公的医療機関等で研修・勤務し、臨床医としての研鑽を積みながら地域医療への貢献を 果たすことになります。

ンも選択できます。





プログラムにおいては、大学院に進学し、研究の道で学位(医学博士)を取得するプラ こうした様々な可能性を具体化するプログラムが用意されています。 一般選抜 ※一般枠の学生も同じ卒後プログラムを履修可能 一般枠 (定員20名) 先進研修連携枠(ATOP-M)プログラム 【例】呼吸器内科 臨床研修修了後、札幌 札幌医科大学附属病院 関連医療機関 医科大学に所属し、7 医学部 一般選抜 1年 2年 3年 4年 5年 6年 7年 8年 9年 学校推薦型選抜 道の医学・医

先進研修連携枠 /定員 一般選抜:55名 学校推薦型選抜:20名

学校推薦型選抜

特別枠

(定員15名)

年間、札幌医科大学お よび国内外の関連する 機関において医学・医 療に従事することを確

間(全入試枠共通力 卒業後、道内の医療機 関に9年以上勤務し、 かつ、当該勤務期間の うち5年以上の期間を 北海道知事が指定す る公的医療機関等で 勤務することを確約

6 年

※特別枠の入学者全員を対象として北海道医師養成確保修学 資金(大学の入学料及び授業料に相当する額並びに月額12 万円)が北海道から貸与されます。

臨床研修 内科全般の研修 呼吸器内科の専門研修 内科専門医 呼吸器専門医 医学博士 大学院博士課程 (学位取得) ※研究医育成プログラムもあります。 札幌医科大学が専門医資格取得をサポート 「特別枠」卒後プログラム

【例】消化器外科 札幌医科大学附属病院 知事指定医療機関 臨床研修 前期地域勤務 選択研修 (外科全般の研修) (消化器外科の専門研修) 外科専門医 消化器外科 専門医取得

大学院博士課程(4年間) (学位取得)

幅広いプログラム



支える臨

床医

SAPPORO MEDICAL UNIVERSITY LEAP 2024